

※このチェックリスト（関係するチェックリストがある場合はそれらを含む）にある全ての項目を満たす場合は、「鳥取県新型コロナ安心対策認証店」として認証を受けることができます。（その場合、このチェックリストを認証申請の添付書類として使用することができます）

**【 店 舗 名 】 における
事業継続のための新型コロナウイルス感染拡大予防対策**

新型コロナウイルスの感染拡大を防ぎつつ営業を継続するため、営業の場面に
応じて発生するおそれがある感染リスクへの対応を別紙のとおり実行します。
経営者及び従業員はこの内容を理解し、状況に応じて修正します。

<施設概要>

店名	
所在地	
事業者名	
事業概要	
従業員数	全 人（通常の出勤人数 人）
営業時間	: ~ : 、 : ~ :
主な感染予防対策	

ライブハウス向けチェックリスト

引用「ライブハウスにおける事業継続のための新型コロナウイルス感染拡大予防対策例」

1. お客様への感染拡大予防対策

(1) 公演準備

(動線の分離)

- 演奏機材の搬入、出演者の出入りとお客様との動線は可能な限り分離する。

(具体的な方法)

- リハーサル・撤収等の時間設定を長くする
 その他 ()

(準備等の密集回避)

- 準備や撤収の際の密集を回避する対策を行う。

(具体的な方法)

- 裏口を使用 公演開始前後に行う
 その他 ()

(プレゼント)

- 出演者へのプレゼントを施設で受け付けないよう、主催者に要請する

(サービスの変更・中止) ※従前から実施していない場合はチェック不要

- 感染予防のため、サービス内容の変更や中止を行い、周知する。

(中止したサービス:)

(2) 入場・公演中・退場

(お客様の体調確認)

- 発熱（37.5度以上）や咳、咽頭痛等の症状のあるお客様には来店いただかないよう掲示する。
- 来店時にお客様の体調確認を行い、発熱や咳、咽頭痛等の症状のあるお客様の来店をお断りする。
(体調確認方法) ※実施しているもの全てにチェック
 - 非接触型体温計を設置し、検温依頼
 - 従業員が個別聞き取り
 - 受付票の提出依頼
 - その他 ()

(入口での消毒)

- 出入口や店内各所に手指の消毒設備を設置し、お客様入店時等に手指消毒を要請する。

(消毒設備の内容)

- アルコール消毒液（濃度60%～90%のものに限る）
(濃度: %) (商品名:)

(チケット窓口販売の密集回避)

- 窓口で購入待ちで列が発生する場合は、来店者同士の人と人の距離（フィジカルディスタンス）を確保する。
※フィジカルディスタンス：1m以上間隔を確保
(具体的な方法) ※実施しているものにチェック
 - シール等で立ち位置を示す
 - 注意喚起の案内表示
 - 整理券発行による呼出し制
 - その他 ()

(チケット窓口)

- チケット窓口での飛沫感染防止措置をする。
(具体的な方法) ※実施しているものにチェック
 - アクリル板や透明ビニールカーテンで遮蔽（サイズ：人の頭より高い）
 - お客様と従業員のマスク着用徹底
 - その他 ()

(会場入口・受付の密集回避)

- 会場入口や受付でお客様が密集しないよう、フィジカルディスタンスを確保する。
(具体的な方法) ※実施しているものにチェック
 - シール等で立ち位置を示す
 - 注意喚起の案内表示
 - 受付場所を分散する
 - 呼出し制
 - その他 ()

(ステージとのフィジカルディスタンス)

ステージと観覧スペースとのフィジカルディスタンスを確保する。

(具体的な方法) ※実施しているものにチェック

- ステージと観覧スペースとの間をビニールカーテン等で遮蔽する。(サイズ: 人の頭より高い)
- その他 ()

(ロッカーでの密集回避)

ロッカーお客様が密集しないよう、フィジカルディスタンスを確保する。

(具体的な方法)

- ロッカーの一部使用禁止等で、距離をとった配置にする
- 予約制
- 間隔を空けて利用するよう掲示(利用上限人数)
- その他 ()

(物販スペースでの密集回避)

物販スペースでお客様が密集しないよう、フィジカルディスタンスを確保する。

(具体的な方法) ※実施しているものにチェック

- シール等で立ち位置を示す
- 注意喚起の案内表示
- レジの増設 (台)
- チケット制による時間制限
- 呼出し制
- その他 ()

(トイレの密集回避)

トイレでお客様が密集しないよう、フィジカルディスタンスを確保する。

(具体的な方法) ※実施しているものにチェック

- シール等で立ち位置を示す
- 注意喚起の案内表示
- 来場前の用便案内
- トイレの増設
- その他 ()

(退場時の密集回避)

退場時に出口付近でお客様が密集しないよう、フィジカルディスタンスを確保する。

(具体的な方法) ※実施しているものにチェック

- チケット番号や客席エリアによる退場順番案内
- シール等で立ち位置を示す
- 注意喚起の案内表示
- 出口を分散する
- その他 ()

2. 施設の管理

(換気)

- 開店前、営業中、営業後に網戸のある窓を開けるなど、店内の十分な換気をする。
 ※施設全体の空気が入れ替わるよう空気の流れを作る
 (開店前・後の換気方法) ※実施しているもの全てにチェック
 店内の入口・ドア・窓を開放 (開放箇所)
 換気扇を稼動 (換気扇台数 台、) ※部屋ごとに記載
 サーキュレーターを設置して稼動 (サーキュレーター 台)
 その他 ()
 (営業中の換気方法)
 ※実施しているもの全てにチェック (換気量を満たさない場合は、窓等の開放による換気が必須)
 店内のドア・窓を開放
 ・開放箇所 ()、開放頻度 分に 回/ 常時)
 ◆換気の頻度は30分に1回、5分程度の開放が必要
 換気扇により換気 (換気量は店舗内の滞在人数 (従業員含む) 1人につき毎時30m³以上を確保)
 ・店舗内の換気扇の換気量の合計 (m³/時間) ÷ 店舗内滞在人数 (人) = ()
 ◆換気量 (排気) が十分でも給気のため、定期的に窓を開けるなど換気が必要

<店舗内の換気扇の換気量>

- ・店舗内の換気扇の換気量の合計は下記の表に記載して計算してください。
- ・換気扇の換気量は、製品の取扱説明書等に記載があります。不明な場合は設置業者等に確認、型番等をインターネットで確認することができます。(不明な場合はご相談ください)
- ・換気扇の型番等が不明の場合は、換気風量を測定しますので、ご相談ください。

設置場所	換気扇型番	換気量 (m ³ /時間)	台数	計
ロビー				
ステージ				
出演者控室				
その他				

- サーキュレーターを設置して稼動 (サーキュレーター 台)
- CO₂センサーを設置して二酸化炭素濃度1000ppmを超えないことを確認
- その他 ()

(公演中の換気)

- 公演中の定期的な会場換気のため、主催者と調整し、休憩回数や休憩時間を設定する。
 (換気のための休憩頻度:)
 (公演中の換気方法) ※実施しているもの全てにチェック (上2つのいずれかは必須)
 ドア・窓を開放 (開放箇所、頻度 時間に 回/常時/その他)
 換気扇を稼動 (滞在人数 (従業員含む) 1人につき毎時30m³以上を確保)
 ・換気扇の換気量の合計 (m³/時間) ÷ 部屋内滞在人数 (人) = ()
 ・換気扇の台数 (台) ※部屋ごとに記載
 サーキュレーターを設置して稼動 (サーキュレーター 台)
 CO₂センサーを設置して二酸化炭素濃度1000ppmを超えないことを確認
 その他 ()

- (換気扇がある場合) 換気扇を定期的に点検する。
 頻度 (に 回)

(拭き取り清掃・消毒)

- 多くのお客様が触れる部分は定期的（開店前、営業中、営業後）に拭き取り及び消毒液による消毒をする。
（消毒する箇所）（頻度）に（回）※店内にあるもの全てにチェック
- 窓口カウンターテーブル ○ 筆記用具 ○ ドアノブ ○ 手すり ○ **タッチパネル**
- トイレドアノブ ○ トイレ洗浄レバー ○ ロッカー ○ 待合椅子
○ 楽器 ○ モニタースピーカー（お客様が触る物） ○
○ レジ ○ 電話 ○ パーティション ○ その他（ ）
- （具体的な消毒方法）
○ アルコール消毒液（濃度60%～90%） ○ 次亜塩素酸ナトリウム（濃度0.05%）
○ 界面活性剤含有の洗浄剤 ○ 次亜塩素酸水（厚生労働省が示す使用上の注意を遵守の上）
○ その他（ ）

(出演者員控室) ※いずれかにチェック

- 出演者用の控室（事務室・休憩スペース・更衣室）はない。
 控室がある場合は、以下のような対応を実施する。
- マスク着用、一度に使用する人数制限、対面での食事や会話を避ける。（一度の使用人数 ）
 - 従業員同士のフィジカルディスタンスを確保
 - 常時換気を行う。（換気方法 ）
 - 共用する物品を定期的に消毒する。
（共有する物品：○ 机 ○ 椅子 ○ ポット ○ ドアノブ
○ その他（ ））
（消毒頻度： ）
（消毒液：成分 濃度 ）

(手洗い後)

- 共通のタオルを禁止し、以下のいずれかの対応を実施する。
（具体的な方法）
○ ペーパータオルの設置 ○ 個人のタオル等の使用
○ 定期的な清掃・消毒を行っているハンドドライヤーの使用（清掃・消毒の頻度： ）

(ゴミ)

- ゴミ出しする者は、作業後、必ず手洗いする。
 ペーパータオルのゴミは、以下のいずれかの対応を実施する。
（具体的な方法）
○ ゴミはゴミ箱に入れて密閉する。
○ 蓋がない場合は、お客様使用の都度、ゴミを回収する。

(掲示)

- 以下のような注意喚起等の掲示をする。
○ 新型コロナウイルス感染予防対策協賛店のステッカー

3. 従業員の感染拡大予防対策

(従業員の体調確認)

- 出勤前に体温を計測させ、発熱（37.5度以上）や風邪症状（咳やのどの痛みなど）の症状がある場合は自宅待機とする。

(従業員の体調確認方法)

- 体調不良時の申し出制度
 毎日の体調報告制度
 その他（ ）

(就業制限)

- 感染した従業員の就業を禁止する。

(連絡先把握)

- 従業員及び公演アルバイト・主催者の連絡先を把握する。

(連絡先把握方法)

- 主催者に連絡先名簿の提出を依頼
 その他（ ）

(手指消毒)

- 接客時等の手指消毒や手洗いを徹底する。

(具体的な頻度) ※黒丸は必須

- 会計で金銭やカード等を受け渡した後
 従業員間で共有する事務用品を使用する前後
 お客様が使用した備品等に触れる前後
 その他（ ）

(従業員間のフィジカルディスタンス)

- 従業員同士のフィジカルディスタンスを確保する。

(具体的な方法)

- 密集しないシフトとする
 営業中に従業員間のフィジカルディスタンスを確保した配置とする
 その他（ ）

(従業員控室) ※いずれかにチェック

- 従業員用の控室（事務室・休憩スペース・更衣室）はない。

- 控室がある場合は、以下のような対応を実施する。

- 従業員同士のフィジカルディスタンスを確保（できるだけ2m（最低1m以上））
 常時換気を行う。（換気方法 ）
 共用する物品を定期的に消毒する。
（共有する物品： 机 椅子 ポット ドアノブ
 その他（ ））
（消毒頻度： ）
（消毒液：成分 濃度 ）

(制服)

- 勤務中に着用する制服等の衣服は当該日業務終了後など定期的に洗濯する。

定期的な洗濯の頻度（例：業務終了後に毎回）（ ）

(動線の分離)

- 従業員の出入りとお客様との動線は可能な限り分離する。

(具体的な方法)

- 裏口を使用 営業開始前後に行う
 その他（ ）

(従業員・出演者のトイレ)

- 従業員・出演者は専用トイレを使用する。

- （トイレは共有の場合）トイレ使用後の手洗いを徹底する。

(感染予防対策の共有)

- 事業者が実施する感染予防対策について、従業員に周知し実行する。

(具体的な方法：)

新型コロナウイルス感染防止対策チェックリスト（飲食店向け）

1. お客様への感染拡大予防対策	
(1) 来店・受付・会計	
(来店待ちの密集回避)	
<input type="checkbox"/> 来店待ちにより列が発生する場合は、来店者同士が触れ合わない程度の間隔を確保する。 (具体的な方法) ※実施しているもの全てにチェック <input type="radio"/> シール等で立ち位置を示す <input type="radio"/> 注意喚起の案内表示 <input type="radio"/> 整理券発行による呼出し制 <input type="radio"/> その他 ()	
(施設規模に応じた受入)	
<input type="checkbox"/> フィジカルディスタンスを確保できるよう、施設規模に応じた受入をする。 (具体的な方法) ※実施しているもの全てにチェック <input type="radio"/> 予約制を取り入れる。 <input type="radio"/> 連絡先を確認の上、呼出し制により改めての来店を依頼する。 <input type="radio"/> 満席の場合は入店をお断りする。 <input type="radio"/> その他 ()	
(会計)	
<input type="checkbox"/> 会計用のタッチパネル使用時には、お客様に手指消毒を依頼する。 <input type="checkbox"/> 会計待ちにより列が発生する場合はフィジカルディスタンスを確保する。(テイクアウトを含む) (具体的な方法) ※実施しているもの全てにチェック <input type="radio"/> シール等で立ち位置を示す <input type="radio"/> 注意喚起の案内表示 <input type="radio"/> 席会計 <input type="radio"/> その他 ()	
(支払)	
<input type="checkbox"/> 支払い時の感染症対策をする。 (具体的な方法) ※実施しているもの全てにチェック <input type="radio"/> キャッシュレス決済の導入 <input type="radio"/> 手指消毒をする <input type="radio"/> その他 ()	

(2) 案内・食事

(グループ間の対人距離)

- グループ間の対人距離を確保する。
(具体的な方法) ※実施しているもの全てにチェック
- グループごとの個室で対応する。
 - グループの間隔を空けて、1m以上確保できるように配置する。
 - テーブル間をアクリル板、透明ビニールカーテン、パーティション等で遮蔽する。
 - その他 ()

(テーブル席でのフィジカルディスタンス) ※個室・座敷を含む

- テーブル席においてフィジカルディスタンスを確保する。
※同居家族等であることが確認できる場合は、申し出によりパーティションを外すこともできます。
(少人数家族の場合、日常的に接している知人等の少人数の同一グループ、介助者同席の高齢者や乳幼児・障がい者等の場合)
※同居家族等である確認(フィジカルディスタンスを確保しない場合)
- 来店時に従業員が個別聞き取り
 - 予約時に個別聞き取り
 - その他 ()
- (具体的な方法) ※実施しているもの全てにチェック
- 正面とならないよう、斜め掛けとなるよう席を案内する。
 - テーブル上にアクリル板等を設置して遮蔽。(サイズ:着席した人の頭より高い)
 - その他 ()

(カウンター席でのフィジカルディスタンス)

- カウンター席においてフィジカルディスタンスを確保する。
※同居家族等であることが確認できる場合は、申し出によりパーティションを外すこともできます。
(少人数家族の場合、日常的に接している知人等の少人数の同一グループ、介助者同席の高齢者・乳幼児・障がい者等の場合)
※同居家族等である確認(フィジカルディスタンスを確保しない場合)
- 来店時に従業員が個別聞き取り
 - 予約時に個別聞き取り
 - その他 ()
- (具体的な方法) ※実施しているもの全てにチェック
- 隣り合う席の使用を中止する等で、席の間隔を1m以上確保できるように配置する。
 - 隣の席との間にアクリル板等を設置して遮蔽する。(サイズ:人の頭より高い)
 - その他 ()

(サービス内容の変更・中止) ※該当がない場合はチェック不要

- 感染リスクの高いサービスは内容の変更や中止を行い、掲示を行う。
(変更・中止したサービス)
()

(ビュッフェ方式への対応)

- ビュッフェ方式の提供
- 対策を行って提供する。
 - 提供はしていない。
- (ビュッフェ方式提供時の具体的な方法)
- 取り分け用のトングや箸を共用する場合は、手指の消毒を徹底する。
 - あらかじめ小皿に盛り付けて提供する。(お客様は小皿をとるのみ)
 - 従業員が取り分ける。
 - その他 ()

(箸や取り皿の提供)

- 箸・取り皿・爪楊枝・灰皿等については他のお客様が触れないよう対策する。
(具体的な方法)
- 注文後に個別に提供する。
 - 1つずつとれる容器や設置方法で提供する。
 - グループごとに事前に設置する。
 - その他 ()

(注意喚起)

- 以下のような注意喚起を全て実施する。
- | | | | |
|------------------------|--------------------------|----------------------------|-------------------------------|
| ・乾杯はグラスが触れないように行う | <input type="radio"/> 掲示 | <input type="radio"/> 口頭案内 | <input type="radio"/> その他 () |
| ・お客様同士のお酌やグラスの回し飲みは避ける | <input type="radio"/> 掲示 | <input type="radio"/> 口頭案内 | <input type="radio"/> その他 () |
| ・過度の飲酒は避ける | <input type="radio"/> 掲示 | <input type="radio"/> 口頭案内 | <input type="radio"/> その他 () |
| ・大声での会話を避ける | <input type="radio"/> 掲示 | <input type="radio"/> 口頭案内 | <input type="radio"/> その他 () |
| ・スプーンや箸などの共有・使い回しはしない | <input type="radio"/> 掲示 | <input type="radio"/> 口頭案内 | <input type="radio"/> その他 () |

2. 施設の管理

(換気)

- 開店前、営業中、営業後に網戸のある窓を開けるなど、客席及び厨房の十分な換気をする。
 ※施設全体の空気が入れ替わるよう空気の流れを作る
 (開店前・後の換気方法) ※実施しているもの全てにチェック
- 店内の入口・ドア・窓を開放 (開放箇所)
 - 換気扇を稼動 (換気扇台数 客席 台、 厨房 台)
 - サーキュレーターを設置して稼動 (サーキュレーター 客席 台、 厨房 台)
 - その他 ()
- (営業中の換気方法) ※実施しているもの全てにチェック (上2つのいずれかは必須)
- 店内のドア・窓を開放 (開放箇所 、 頻度 時間に 回/常時/その他)
 (開放箇所 、 頻度 時間に 回/常時/その他)
 - 換気扇を稼動 (換気扇台数 客席 台、 厨房 台)
 - サーキュレーターを設置して稼動 (サーキュレーター 客席 台、 厨房 台)
 - CO₂センサーを設置して二酸化炭素濃度1000ppmを超えないことを確認
 - その他 ()

- (換気扇がある場合) 換気扇を定期的に点検する。
 頻度 (に 回)

(換気)

- 営業中に網戸のある窓を開けるなど、客席及び厨房の十分な換気をする。
 ※施設全体の空気が入れ替わるよう空気の流れを作る
 (営業中の換気方法)
 ※実施しているもの全てにチェック (換気量を満たさない場合は、窓等の開放による換気が必須)
- 換気扇により換気 (換気量は、店舗内の滞在人数(従業員含む)1人につき毎時30m³以上を確保)
 ・店舗内の換気扇の換気量の合計(m³/時間)÷店舗内滞在人数(人)=()>30m³
 ◆店舗内の換気扇の換気量の合計は、下記の表で計算してください。
 ◆換気量(排気)が十分でも給気は重要です。定期的に窓を開けるなど換気を行いましょ。う。
 ◆換気量(1人あたり毎時30m³)は、建築物衛生法(ビル管理法)の考え方に基づく必要換気量です。
 - 店内のドア・窓を開放
 ・開放箇所()、開放頻度 分に 回/常時)
 ・開放場所の網戸の有無 有・無 (網戸の設置は必須ではないが、設置が望ましい)
 ◆換気の頻度は30分に1回、5分程度の開放が必要

<店舗内の換気扇の換気量>

- ・店舗内の換気扇の換気量の合計は下記の表に記載して計算してください。
- ・換気扇の換気量は、製品の取扱説明書等に記載があります。不明な場合は設置業者等に確認、型番等をインターネットで検索することで確認することができます。(不明な場合はご相談ください)
- ・換気扇の型番等が不明の場合は、換気風量を測定しますので、ご相談ください。

設置場所	換気扇型番	換気量 (m ³ /時間)	台数	計
客席				
厨房				
トイレ				
合計				

(拭き取り清掃・消毒)

多くのお客様が触れる部分は定期的に拭き取り及び消毒液による消毒をする。

(お客様が入れ替わる都度、消毒する箇所)

- テーブル 椅子 メニュー表 調味料 タッチパネル 呼出しボタン
 券売機 ドリンクバーのボタン その他 ()

※発券機やドリンクバーを使用する場合であって、お客様1名ごとに消毒が困難な場合:

- 機器横にアルコール消毒液を設置し、お客様に使用前後で手指消毒を行うよう要請する。

※食器・箸等の容器器具は一般的な洗浄を徹底(消毒までは不要)

(定期的に消毒する箇所) (頻度 に 回) ※店内にあるもの全てにチェック

- ドアノブ レジ 手すり トイレドアノブ 洗浄レバー
 エレベーターのボタン パーティション その他 ()

(具体的な消毒方法)

- アルコール消毒液(濃度60%~90%) 次亜塩素酸ナトリウム(濃度0.05%以上)
 界面活性剤含有の洗浄剤 次亜塩素酸水(厚生労働省が示す使用上の注意を遵守の上)
 その他 ()

(ゴミ)

ゴミを回収する者は、作業後、必ず手洗いする。

ペーパータオルのゴミは、ゴミ箱に入れる。

(手洗い後)

共通のタオルを禁止し、以下のいずれかの対応を実施する。

(具体的な方法)

- ペーパータオルの設置 個人のタオル等の使用
 定期的な清掃・消毒を行っているハンドドライヤーの使用(清掃・消毒の頻度:)

(掲示)

感染対策の内容を掲示する。

5. その他施設ごとの感染拡大予防対策

(施設の業態に応じた感染拡大対策)

(自由記載)

【例】

- ・練習用スタジオがある場合の対策